

(4月の野菜の見通し)

品目	区分	入荷量(t)			キロ当たり単価(円)			山形県産前年実績		コメント
		前年実績	前年比 見込 (%)	5ヵ年平均	前年実績	前年比 見込 (%)	5ヵ年平均	前年入荷 量(t)	前年占有 率(%)	
だいこん		10,451	98	10,454	100	90	94	-	-	千葉産中心の入荷で全体の8割を占める。3月の降雨が多かったことから肥大は良好。そのため、入荷量は前年を上回ることが予想される。価格は伸び悩み、前年を下回る見込み。
にんじん		7,745	100	7,554	142	92	169	-	-	徳島産中心の入荷で全体の8割を占める。徳島産は豊作であることから3月まで価格は低迷した。全体の入荷量は前年並、価格は引き続き伸び悩み、前年を下回る見込み。
はくさい		5,752	101	6,128	104	67	79	-	-	茨城中心の入荷で全体の9割を占める。4月も3月に引き続き入荷量は潤沢と見込まれ、価格も低迷傾向は続くと見られる。全体の入荷量は前年をやや上回り、価格は前年を下回る見込み。
ほうれんそう		1,427	97	1,427	424	104	427	1	-	埼玉、茨城、岩手産を中心に市況をリードする。2月、3月の天候不順が影響して4月の入荷量は少ない見込み。価格は前年を上回る見込み。
キャベツ類		18,258	100	17,146	122	86	109	-	-	神奈川、愛知、千葉産中心の入荷で全体の約7割を占める。愛知産の生育が遅れていた分の入荷が集中するため、全体の入荷量は前年並に多く、価格は前年を下回る見込み。
ねぎ		4,252	95	4,137	189	132	246	8	-	千葉、埼玉産中心の入荷で全体の8割を占める。4月は春ねぎとなるが、作付けの減少や病気の発生などから入荷は少ない傾向。価格は前年を上回る見込み。
レタス類		7,388	100	7,226	203	74	188	-	-	茨城、香川、兵庫産中心の入荷で約9割を占める。作柄は平年並、販売も平年並の展開。全体の入荷量は前年並、価格は前年を下回る見込み。
きゅうり		7,721	97	7,025	239	105	247	-	-	埼玉を中心とする関東産が市況をリードする。生育は2月、3月の天候不順により前年より一旬程遅れている。全体の入荷量は前年を下回り、価格は前年を上回る見込み。
なす		2,787	100	2,893	348	96	331	-	-	高知、福岡産中心の入荷で全体の約7割を占める。入荷量は2月、3月の天候不順の影響で平年に届かない見込み。全体の入荷量は前年並、価格は前年を下回る見込み。

(4月の野菜の見通し)

品目	区分	入荷量(t)			キロ当たり単価(円)			山形県産前年実績		コメント
		前年実績	前年比 見込 (%)	5ヵ年平均	前年実績	前年比 見込 (%)	5ヵ年平均	前年入荷 量(t)	前年占有 率(%)	
トマト		6,320	100	6,543	421	95	389	-	-	福岡などの暖地産に続き、千葉などの関東産が市況をリードする。越冬作は2月、3月の天候不順の影響で少なかったが、4月には回復する見込み。全体の入荷量は前年並、価格は前年を下回る見込み。
ピーマン		2,148	100	2,246	513	94	419	-	-	茨城、高知産中心で全体の約7割を占める。3月10日の寒波の影響は4月には回復する見込み。全体の入荷量は前年並、価格は前年を下回る見込み。
ばれいしょ		9,342	95	9,164	140	107	139	-	-	北海道、鹿児島産中心の入荷で全体の9割を占める。北海道産の在庫量は少ない。鹿児島産の新ばれいしょは全体に小玉傾向。作付けも減少している。全体の入荷量は前年を下回り、価格は前年を上回る見込み。
たまねぎ		13,446	100	13,488	92	115	92	-	-	佐賀産中心の入荷で全体の約5割を占める。北海道産の貯蔵玉ねぎの出荷は終盤を迎え、佐賀産新玉ねぎの出荷が徐々に本格化する。肥大状況は良好。4月下旬には1回目のピークを迎える。全体の入荷量は前年並、価格は前年を上回る見込み。